

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター・浴室棟及び 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市山北520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	津山市農林部ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 34,059人 (前年度 38,805人) 内 訳 飲食・宿泊等施設利用者数 2,779人 (前年度7,227人) 温泉施設利用者数 31,280人 (前年度31,578人)
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 46,016千円 (前年度 47,776千円) 指定管理料収入 17,304千円 継続・再開事業助成金 3,311千円 利用料収入 21,768千円 受取負担金 3,073千円 その他の収入 560千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 46,152千円 (前年度 53,040千円) 主な支出 人件費 15,384千円 需用費 15,534千円 役員費 892千円 委託料(施設管理) 3,918千円 使用料及び賃借料 2,421千円 負担金 1,860千円 原材料費 4,610千円 公租公課 1,533千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、安心安全に施設を利用していただくことを第一にした管理運営を行った。 ・緊急事態宣言に伴う津山市からの要請により、4月18日から5月31日まで臨時休館し、営業再開後には検温・換気・消毒等の対策を講じながら、適切な施設管理に努めた。 ・利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前半は激減したが、8月から11月の料金免除期間の集客により、温泉施設利用者数は微減にとどめることができた。 ・利用料収入は、前年度と比較して大幅に減少したが、津山市プレミアム付グルメ券「うまい券」やGoToイート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客と増収を図った。 ・季節ごとの料理プランを作り宴会客等の集客に努めた。 ・当公社所有のマイクロバスで送迎サービスを行い、団体客への利便性の向上を図った。 ・地域の交流を目的とし、阿波ふるさとふれあい納涼星空祭りへの出店やスローライフ列車の乗客へ向けた日帰り温泉入浴プランにより施設のPRと集客を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 ・Facebook等を活用して、利用者へ施設や料理、地域の情報等を積極的に発信した。 ・加茂地域のめぐみ荘へ料理の配達を行うことで、増収に努めた。 ・めぐみ荘と入浴共同スタンプカードを導入し、施設の相互利用と利用促進を図った。また、入浴客に向けて、毎月26日に風呂の日イベントを開催した。 <p>上記のことから、厳しい経済状況が続く中で、利用者の安心安全を第一に良好な業務を推進したものと評価する。次年度もコロナ禍が予測されるが、施設の設置目的を果たしつつ収支の改善に努めたい。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、入浴客を中心にアンケートを実施した。概ね良好な意見が多かった。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>令和2年度は、緊急事態宣言による津山市からの休館要請や県外客への自粛要請など、新型コロナウイルス感染症の影響を通年にわたり受けた。</p> <p>特に飲食・宿泊等施設については、新型コロナウイルス対策の「津山市プレミアム付グルメ券『うまい券』」「GoToイート」</p>

等の事業を活用するとともに、検温や換気、手指消毒を徹底するなど、利用客の安全安心を図ったものの、利用者が大幅に減少した。

令和3年度は指定管理期間の最終年であり、ワクチンの予防接種が始まるなか、新型コロナウイルスの終息を見据え、施設の設置目的が達成できるよう運営されたい。